

NPO 自立支援センター ふるさとの会

2006.6.20
【第6号】



これはHTML形式のMAILです。オンラインで無い場合は画像が表示されない可能性があります。

[HOMEPAGE](#)

[SCHEDULE](#)

[EVENTetc](#)

※ふるさとの会のメールマガジンをご愛読いただき、誠にありがとうございます。
今後もふるさとの会の活動内容を定期的に情報発信させていただきたいと存じます。
ご不要の場合はお手数ですがご返信くださいますようお願いいたします。

INDEX

1. 地域生活支援センター合同鎌倉ツアー&センター「すみだ」一周年
2. ふるさとホテル三晃日記(田辺)
3. 苦情解決第三者委員会 説明会開催
4. 北九州研修 訪問先団体紹介
5. はとぼっぽ通信6月号より
6. 今月のボランティア募集

1.地域生活支援センター合同鎌倉ツアー&地域支援センター「すみだ」一周年

■ 地域生活支援センター合同鎌倉ツアー報告

6月18日(日)に、NPOふるさとの会とボランティアサークルふるさとの合同イベントとして、鎌倉ツアーを開催しました。ふるさとの会各施設・各事業所に加え、今回は(財)城北労働・福祉センター敬老室の利用者も多数参加し、計71名という大所帯となりました。大型バスを借り切った形での遠距離旅行というのは、年間イベントを実施するようになってから初めての試みです。利用者の中には要介助・車椅子の方も少なくないため、下準備も相当必要となりましたが、何よりもヘルパーやボランティアの強力なサポートを受けて無事にツアーを終了できました。鎌倉に行くのが小学校の遠足以来という方もおり、風景を懐かしむ利用者さんの姿が特に印象的でした。参加者のIさん(ホームレス地域生活移行支援事業利用者)がさっそく感想文を書き上げてくれましたのでご紹介したいと思います。

「鎌倉日帰りバス旅行」

ポツリ、ポツリと雨が降ってます。今は、梅雨時だからしかたないけれど、雨の中鎌倉へ行ってまいりました。バスの中でもカラオケなどを唄い、わきあいあいよかったのではないのでしょうか(バスガイドさんもすばしかったです)。最初は建長寺を見て回りました。ここは広くてちょっとコースをまちがえればとんでもない所へ行ってしまう。ハイキングコースなんか入れば、しばらくかえてこれなくなってしまうよ。幸いみんなぶじに帰って来てくれたようですが、ガイドさんがあっちこっち走り回って一番大変だったのでは。由比ヶ浜公園での昼食は残念ながら、あいにくの雨で地下の駐車場になってしまい本当に残念でしたね。そして最後は、大仏で有名な高徳院。大仏様も雨にうたれ、なんか輝いて見えるのは気のせいだろうか。あまり長くなるといけないのでこの辺で終わることにします。ちなみに建長寺はけんちん汁の発祥地だそうです。知っていましたか？

ふるさとの会地域生活支援センターでは、施設に入所中の方や、地域で独り暮らしを送る方が、より気軽、より気楽にイベントに参加してもらえるよう全力を挙げて取り組んでおりますが、一方で、利用者のイベント参加を支える公的な支援策がもう少し充実しないものかと感じています。今回のイベントに関しても、自立支援プログラムや被保護者自立促進事業の活用を検討しましたが、実現しませんでした。現在ではイベント参加費として少額の負担を利用者をお願いしていますが、大部分は法人負担となっています。特に自立支援プログラムは被保護者の社会参加や日常生活の支援を謳っており(*)、こうしたイベントをプログラムとして対象化していくことが重要ではないでしょうか。

*「生活保護の在り方に関する専門委員会報告」(平成16年12月 厚生労働省)

鎌倉ツアー。雨の中でも楽しい一日を過ごしました



ソフトボール大会で自慢の腕をふるう利用者さんと職員たち

■ 地域生活支援センター「すみだ」おかげさまで設立1周年

地域生活支援センター「すみだ」を墨田区向島に開設してから丁度一年が経過しました。一年を振り返る中で特に印象強く感じられたのは、地元町会の皆様が本当に温かく私たちの活動を見守ってくださったことです。「元ホームレスや生活保護受給者の地域生活を支援する」センターに対して、懐疑的な見方をする方も少なくなったと思いますが、今こうして地域で受け入れてもらっていることは嬉しい驚きであり、大変有り難いことだと思っています。

最近では青年部の部長さんや(古木は青年部に所属)、副町会長さんからお誘いを受け、町会行事にも少しずつ顔を出させていただいております。町会や青年部の会合に参加したり、近隣町会の御輿を担ぐお手伝いに行ったりしていますが、今回は利用者さんと一緒に参加した町会ソフトボール大会の報告を少し。

先日6月4日に、荒川河川敷で開催された墨中地区ソフトボール大会に参加しました。「町会のソフトボール大会に参加し、一緒に汗を流しませんか」と呼びかけをしたところ、真っ先に手を挙げてくれたのは、移行支援事業からイベント大好きのOさん。グループホームからムードメーカーのKさん。そして大の巨人ファンであるSさんの3名。それに、「すみだ」職員橋本と私古木を含めた計5名で、向島五東町会チームのメンバーとなりました。試合ではKさんがナイスピッチング、チーム内唯一の女性選手である橋本が攻守でファインプレーを見せ喝采を浴びる中、私はタイムリーエラーを連発してしまいベンチを温める始末。チームは初戦黒星ながらも、敗者復活戦で3位決定戦まで進む快進撃を見せました。炎天下の中、早朝から町会の皆さんと過ごした一日。顔は日焼けで真っ黒、体はくたくたでしたが、楽しい時間を過ごすことができました。

今後も、少しでも町会に恩返しのできる地域生活支援センターを目指したいと思います。

(地域支援センター『すみだ』 古木大介)

2.ふるさとホテル三晃日記《便の話》

しばしば口にするセリフがある。
「(我々職員は)利用者さんの家族がわりなんです」。

三晃の利用者は78名。我々職員は、そのひとりひとりの健康状態を把握するように努めなくてはならない。だから、三晃に出入りしているヘルパーさん、訪問看護のみなさん、往診のドクター、ディサービス職員の方々からの情報はこまめにメモするようにしている。

一方で職員は、前回のコラムで触れたように利用者の食事の様子のほか、日常の様子を観察にも注意を払う。そのなかで、健康状態を職員が推測するうえで欠かせないもののひとつに利用者の「便の状態」が上げられる。

ある日、利用者のKさんが腹痛を訴えた。何日も便が出ていないという。苦しそうだ。歩けないと訴えている。「同じではないか」、瞬時に思い出したのが私の祖母のことだ。半年前、やはり便秘に苦しみ、大量の便が腸を破裂させ、それをきっかけに94年の人生を終えていた。そんな体験もあって、その時のわたしは「嫌な予感」に包まれていた。「一刻も早く」。そんな思いでKさんをタクシーに乗せ、一緒に主治医のもとへ急いだ。診察の結果やはり腸に便がたまっていたが、浣腸により事なきを得たのだった。

今でこそあの時の診察室内に広がった強烈な便のニオイは笑い話にできる。が、大事に至らなかったことを医師から伝えられた時はからだじゅうの力が一気に抜けた。ここからほっとした瞬間だった。

三晃では便秘に悩む利用者が時折いる。その訴えを聞いたときに、服薬や散歩、身体を動かすことを勧めている。あるいは、「調子が悪い」と訴える利用者にはいつも聞く。「便は出ていますか?」「何日便が出ていないんですか?」と。

それは、半年前に近くにいたのに救えなかった祖母のことが、事なきを得たが苦しんでいたあの時のKさんの姿がいつもここに残っているからに違いない。二度と繰り返すまい、そんな気持ちもあるかもしれない。利用者78名の近くにいる者の努めとして。家族がわりを口にする者として。

(ふるさとホテル三晃 田辺 登)

3.ふるさとの会苦情解決第三者委員会説明会

先日お伝えしましたように、ふるさとの会では利用者さんへのよりよいサービスの提供のため、苦情解決第三者委員会を設置しております。6月20日にはふるさとホテル三晃で、委員長の鈴木亘さんをお迎え、利用者さん向けの説明会を行いました。

(特非)自立支援センターふるさとの会
苦情解決第三者委員会のサービス利用にあたって

苦情解決第三者委員会は、利用者皆様の権利を守り、サービスの質の向上を図りつつ、適切な利用をしていただけるようにするための機関です。

苦情を申し立てたことにより、利用者皆様がサービスを受けるにあたって不利益を被ることは決してありません。

苦情申し出の受付は、基本的に各宿泊所の苦情受付担当者(責任者)が行いますが、責任者には言い出しにくいといった状況も想定されますので、第三者委員が直接苦情を受けることもできます。

<各連絡先>

苦情解決責任者 (特非)自立支援センターふるさとの会 代表理事 水田 恵
台東区千束4-39-6-4F TEL03-3876-8150 FAX03-3876-7950

苦情受付担当者 ふるさとホテル三晃 秋山 雅彦 TEL:03-3872-7082

第三者委員	直通電話	TEL:090-6160-3926
委員長	東京学芸大学教育学部助教授	鈴木 亘
委員	国立社会保障・人口問題研究所	稲田 七海
委員	台東区役所職員 東浅草小学校PTA会長	今関 顕治
委員	国立保健医療科学院建築衛生部	阪東美智子
委員	静岡大学人文学部教授	布川日佐史

4.今度は北九州研修に参ります！ 職員研修

ふるさとの会では、職員が他地域での支援活動を体験することで自らの支援活動の向上を図るため、職員研修を行っています。今回は『北九州ホームレス支援機構』にお邪魔し、日ごろの取り組みなど豊かな経験に学ばせていただく予定です。

訪問先団体紹介—————

NPO法人北九州ホームレス支援機構は、野宿者支援のための炊き出し、自立支援、自立後サポート、講演会、ボランティア育成などの事業を行い、人権を獲得するための活動も行っています。

「ハウス」レス脱却後も「ホーム」レスからの回復を願い、一人で死なない、一人で死なせないことを目指しています。そして、ホームレスを生まない社会の形成を志しています。

団体HPより <http://www.h3.dion.ne.jp/~ettou/npotop.htm>

5.はとぼっぽ通信6月号より

地域支援センター「すみだ」では、定期的に行っている 夕食会、カレーの日に、利用者さんと一緒に楽しい時間を過ごして下さるボランティアさんを募集しています。詳しくは、地域支援センター「すみだ」までお問い合わせ下さいませ～。

夕食会 毎週木曜日 18:00～ (集合15:00 解散18:00 予定)
利用者のみなさまのご希望に合わせてメニューを決めています

カレーの日 毎月第2、第4火曜日 12:00～14:00 (集合10:00 解散14:00 予定)
カレー作りのお手伝いしてくれるボランティアさんも募集しています

地域支援センター「すみだ」〒131-0033 墨田区向島5-43-20レイコーリサビル101 TEL 03-5819-3254

6.今月のボランティア募集

♪江戸東京博物館ツアーの同行ボランティア募集のお知らせ♪

ふるさとの会地域支援事業部では、好評だった鎌倉ツアーに引き続き、7月中旬にすみだ台東合同で、江戸東京博物館へのツアーを計画しています。その際の利用者見守りのボランティアを募集しています。利用者さんといっしょに、一日江戸気分を楽しみませんか？

ボランティア希望の方は、地域支援センター「すみだ」03-5819-3254(フルキ)までご連絡ください。

発行元: 特定非営利活動法人 自立支援センターふるさとの会
〒111-0031 東京都台東区千束4-39-6
TEL: 03-3876-8150 FAX: 03-3876-7950